

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取西部） 1 1 月号

1. 初の9元中継で市場と意見交換。秋冬ブロッコリー販売9億円超目指す

10月1日、これからシーズンを迎える秋冬ブロッコリーの販売対策リモート会議を行い、J A 鳥取西部初の9元中継を行った。

鳥取市のJ A全農とっとりや名古屋、京都、大阪、神戸、奈良、米子の各市場をネットでつなぎ、担当者らと9分割のモニターで顔を合わせて意見を交わした。



2. AEDを更新設置。講習会を開く

鳥取県西部地震から20年の節目を迎えた10月、管内支所などに設置しているAED（自動体外式除細動器）の更新に合わせ、職員を対象としたAED取り扱い講習会を開催している。

講習会は10月2日、中山支所を皮切りに、28日まで設置支所で、全40回開催。



3. 米川清掃ボランティア

10月2日、本所裏を流れる米川沿いの美化に取り組む毎年恒例の清掃ボランティアに職員50人が参加した。

職員らは、花壇に生える雑草を鎌などを使って手作業で取り除き、袋に詰めて回収した。



4. 稲刈り体験で収穫のありがたさ実感

10月26日、淀江小学校に隣接する田んぼで児童達は、黄金色に実った稲の収穫体験を行い、気持ちのいい汗を流した。

児童らは鎌の使い方を習うと、一株ずつ丁寧に刈り取り、切り口を揃えるなど体を使う農作業の大変さを実感しながら収穫の喜びを体験した。



5. 鳥取和牛の給食に舌鼓

尚徳小学校の学校給食に10月28日、鳥取和牛を使った献立「プルコギ」が登場した。

和牛肉給食は、県産和牛の消費喚起と食育の推進を目的に、11月末まで3回、鳥取県牛肉販売協議会の県産牛肉等学校給食提供事業を活用し、県内小中学校や特別支援学校181校の献立に加えられる。

